



総 15020059

平成 27 年 3 月 19 日

代表取締役 大 中 勝 博

【入社式】

今春は早期就業者を含め、13 人の新人を迎えます。既に 10 ヶ月に渡る内定者研修を経ての入社であり、我々の仲間として大いに活躍されんことを期待しております。

日時：平成 27 年 3 月 23 日（月） 9：00～11：00

場所：港区商工会館 第 2 会議室（東京産業貿易会館 6F） 03-3433-0862

内容：訓示、入社オリエンテーション、港区 新事務所見学

【人事】

北島 昭夫：平成 27 年 2 月 21 日開催の Hermes Corporation 定時株主総会の終結を以て同社の代表取締役社長を任期満了し、顧問に就任しました。

眞島 三恵：平成 27 年 2 月 21 日開催の Hermes Corporation 定時株主総会の決議により同社の代表取締役社長に就任しました。

花井 正史：平成 27 年 2 月 21 日開催の Hermes Corporation 定時株主総会の決議により同社の取締役役に就任し、システム営業部 部長代理を兼務します。

渋谷 陽子：平成 27 年 2 月 28 日に株式会社ヘルメスシステムズの取締役役を辞任し、同社の社員教育 顧問に就任しました。

今枝 暁子：平成 27 年 3 月 1 日開催の株式会社ヘルメスシステムズの臨時株主総会の決議により同社の取締役役に就任しました。

田中喜一郎：平成 27 年 3 月 9 日を以て試用社員を解き、正社員に登用します。

市川 雅史：平成 27 年 2 月 20 日を以て試用社員を解き、正社員に登用します。
平成 27 年 3 月 21 を以て Hermes Corporation に転籍とします。

関 大樹(BP)：平成 27 年 3 月 31 日を以て、契約満了とします。

岩崎 智之：平成 27 年 4 月 1 日を以て Hermes Corporation に転籍とし、システム営業部主任を命じます。

垣内 卓也：平成 27 年 4 月 1 日を以て試用社員として採用し、正社員を予定します。

別所 隼人：平成 27 年 4 月 1 日を以て試用社員として採用し、正社員を予定します。

加藤 啓輔：平成 27 年 4 月 1 日を以て試用社員として採用し、正社員を予定します。

矢野 駿也：平成 27 年 4 月 1 日を以て試用社員として採用し、正社員を予定します。

和田 裕気 : 平成 27 年 4 月 1 日を以て試用社員として採用し、正社員を予定します。

金崎 沙弥 : 平成 27 年 4 月 1 日を以て試用社員として採用し、正社員を予定します。

伊藤 瑠璃 : 平成 27 年 4 月 1 日を以て試用社員として採用し、正社員を予定します。

石井 晴菜 : 平成 27 年 4 月 1 日を以て試用社員として採用し、正社員を予定します。

【プロジェクト 配属】

小鮒 陽介 : 平成 27 年 3 月 1 日を以て、SCM チームに配属します。

佐藤佑希久 : 平成 27 年 3 月 9 日を以て、NCS・みずほチームに配属します。

高尾 遼 : 平成 27 年 4 月 1 日を以て、モルガン・スタンレーチームに配属します。

矢澤 達也 : 平成 27 年 4 月 1 日を以て、モルガン・スタンレーチームに配属します。
(三菱UFJ モルガン・スタンレー証券 投資情報部長の日経新聞記事を本書に添付)

【内定者】

大塚 孝成 : 河原 IT ビジネス専門学校 総合情報学科 (愛媛県 西条市)

丸目 有輝 : 宮崎情報ビジネス専門学校 情報システム科 (宮崎県 えびの市)

【慰霊祭】

本年は大東亜戦争終戦七十年に当たります。去る 3 月 10 日の歴史は、昭和 20 年の東京大空襲の日であり、戦時国際法に違反した米軍の残虐な無差別攻撃で、一般市民でしかない東京都民 10 万人以上が焼夷弾に焼かれて犠牲となりました。都民の一人として、社長が靖国神社に慰霊の昇殿参拝を致しました。

また、平成 27 年 3 月 21 日(土)には、英霊に感謝の誠を捧げる為に「硫黄島 日米合同慰霊祭」に当社を代表して社長が参加をいたします(3/20 慰霊団結成式の翌朝に日本国専用チャーター機にて渡島)。

【慶弔】

清田祐嗣さんの祖父様が平成 27 年 3 月 10 日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

【ビジネス・マナー研修】

以下の日程にて、ビジネス・マナー研修を実施します。土曜日の実施でもあり、内定者やBPの方を除き、参加社員の方は原則として当日を「振出」としますので、対応する「振休」を自身のGLの了承の下で、勤怠管理システムに申請しておいて下さい。尚、当日のお世話係として、桜庭、石井のご両人については出勤を命じます。

日時 : 平成 27 年 3 月 28 日(土) 9:00~17:30

場所 : 港区商工会館 第2会議室 (東京産業貿易会館 6F) 03-3433-0862

以 上

NIKKEI ASIAN REVIEW

アジアの鼓動 英文で読む

日本経済新聞社の「Nikkei Asian Review」は、日本を含むアジア地域の最新情報を伝える英文媒体です。ウェブで最新のニュースを日々配信するとともに、マガジン(アプリとプリント版)では分析記事、寄稿

私の海外情報活用術

三菱UFJモルガン・スタンレー証券投資情報部長

藤戸 則弘氏

映像と統計 見落とさず

藤戸則弘・三菱UFJモルガン・スタンレー証券投資情報部長は経済動向などを分析して投資戦略を語るストラテジストです。証券会社に籍を置きますが、株式の売り手ではなく、買い手の視点から市場を読み解こうとしています。分析レポートを毎週発信し続ける、投資家目線の情報分析手法について聞きました。(聞き手はNAR編集部次長 上原正詩)

海外投資家と同じ視点

——マーケット動向を分析する「藤戸レポート」を毎週、会社のホームページに無料で掲載しています。日本株の分析というより、世界情勢の分析になっているようですが。

「私の担当は日本株ですが、昔と決定的に違うのは、日本株を売買している7割近くは海外投資家だということです。平成バブルの頃は、9割が国内投資家でした。今や海外投資家と同じ視野を持つ必要があります」

「産業もボーダーレスになっており、それぞれの企業を世界的な観点から見ないとだめでしょう。自動車や電機はもともと世界を相手にしていますが、ユニ・チャームや花王など内需型とされていた企業も最近はそのようです」

——真っ先に見るのは米国ですか。
「まずは米国でどのような株が買われているかを見ます。外国人は注目業種があると自国でその業種の株を買い、次に日本でも同じ業種の株を買う傾向があります。世界の金融政策についても、米連邦準備理事会(FRB)

のさじ加減次第です。日銀だけを見ていてはだめです」

——アジア関連情報はどうですか。
「アジア企業でいえば、中国電子商取引大手のアリババ集団は昨年9月に米国に上場しましたが、120円(約1万4500円)あった株価も今や80円程度です。アリババの通販サイトの売り上げ増し懸念が報じられ、株が急落しています。同社が公表している数字が信頼の置けるものなのか、という疑問が出ています。米国の動向をウォッチしていないとアジアも日本も分かりません」

——具体的に海外情報はどのように収集していますか。

「英ロイター通信や米ウォール・ストリート・ジャーナル、英フィナンシャル・タイムズなどは必須です。投資家にお薦めなのはNHKのBS放送の早朝のニュース番組です。世界各国の現地ニュースをパッケージで流しています。活字よりも映像の方がビビッドに実感できます。米国の各種統計データはインターネットで直接取ります。米国は情報公開については非常にオー

ブンです」

——投資家目線はどう変わったのですか。

「もともと金融機関でファンドマネジャーをしていました。売り手サイドの視点で資金を運用していたら、ファンドが死んでしまいます。今は自分で投資判断する世代が台頭し、個人投資家と機関投資家の情報格差もなくなっています。買い手サイドの立場で市場を分析しないと、顧客の信頼も得られません」

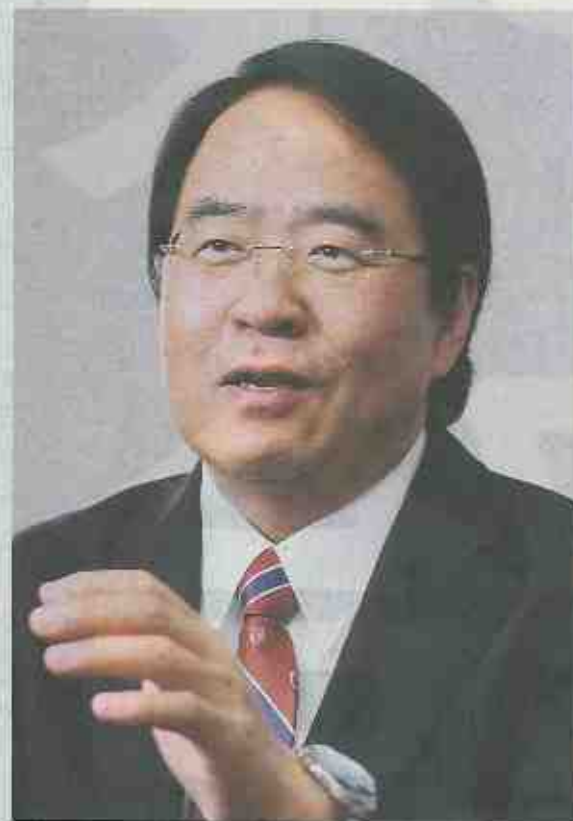
歴史的視野から分析

——「藤戸レポート」は歴史にまつわるエピソードがよく出てきます。

「ミリタリー(軍事)関連の書籍はよく読みます。愛読書の一つは『ローマ帝国衰亡史』(エドワード・ギボン著)です。ローマ帝国の歴史は世界の文明に共通する事例が満載です。アジア関連なら『史記』(司馬遷著)です」
——現在の日本をローマ帝国に例えるとどうですか。

「日本は人口も増えないし高齢化も進んでいます。『長い斜陽』の時代に入っています。最盛期の五賢帝時代、混乱期の軍人皇帝時代を経て、今の安倍晋三政権で紀元300年ぐらいのコンスタンティヌス帝時代に入ったという感じがします」

——Nikkei Asian Reviewではアジ



ア関連情報の配信に注力しています。期待する点は何ですか。

「外交や安全保障について関心がある人も購読対象にしているようです。私の場合、レポートの購読者は100%投資家です。どういう読者を想定するかで伝える内容も変わってくるでしょう」

「例えば(昨年5月に就任した)インドのモディ首相の構造改革は、旧体制との戦いだと思います。経済成長を期待されるアジア諸国ですが、社会構造の問題を歴史的な視野から分析してもらいたいと思います」

ふじと・のりひろ 1979年早大空。ファンドマネジャーを経て、99年国際証券入社。2002年三菱証券(現三菱UFJモルガン・スタンレー証券)投資情報部長。10年から頭職。38歳。

プリント版、最新号は「ASEANの国境を越えたビジネス」特集

■国内外の書店で販売中 Nikkei Asian Reviewプリント版は国内外の書店で取り扱っています。国内では「ブックファースト銀座コア店」(東京・中央)や「三省堂書店成田空港店」(千葉県成田市)などで販売。海外ではシンガポールやタイなどの紀伊国屋書店のほか、欧米の一部書店でも販売を始めた。プリント版は全64ページで、価格は1部600円(国内、税込み)。国内では毎週月曜日に発売します。

3月16日発売の最新号は国の枠組みを超えて経済統合へ突き進むASEAN(東南アジ

ア諸国連合)を中心に、国境付近で営まれるビジネスの現場やインフラの規格統一といった課題への取り組みをレポートしています。中国の全国人民代表大会(全人代)といった最新の政治・経済ニュースや識者によるコラム「Viewpoints」など読み応えのある記事も満載です。アジアの街角の今をカメラに収めた写真特集も見逃せません。ウェブサイト(asia.nikkei.com)と併せ、Nikkei Asian Reviewをお楽しみください。

プリント版の定期購読は、ウェブサイトの閲覧とセットでお申し込みいただけます。

<Nikkei Asian Review取扱書店>

▼東京 NIKKEI SHOP/八重洲ブックセンター本店/紀伊国屋書店(新宿南店、新宿本店、大手町ビル店)/リブロ(青山店、池袋本店、ecute日暮里店、汐留シオサイト店)/TSUTAYA(TSUTAYA TOKYO ROPPONGI、TokyoMidtown、代官山葛尾書店、大崎駅前店)/The Monocle Shop Tokyo/The Monocle Cafe Tokyo/ブックファースト(銀座コア店、レミイ五反田店、渋谷文化村通り店、新宿店)/バルコブックセンター 吉祥寺店/ジュンク堂書店(池袋本店、プレスセンター店)/丸善(丸の内本店、アークヒルズ店)/三省堂書店(神保町本店、アトレ秋葉原1店、東京駅一番街店、有楽町店) ▼埼玉 三省堂書店

大宮店 ▼千葉 三省堂書店 成田空港店 ▼神奈川 丸善 ラゾーナ川崎店/三省堂書店 新横浜店/紀伊国屋書店 横浜店 ▼シンガポール 紀伊国屋書店(シンガポール本店、リャンコート店、ジュロン店) ▼インドネシア 紀伊国屋書店ジャカルタ店 ▼マレーシア 紀伊国屋書店クアラルンプール店 ▼タイ 紀伊国屋書店(バンコク店、スクンビット店、サイアムパラゴン店) ▼オーストラリア 紀伊国屋書店シドニー店 ▼英国 The Monocle Shop London/The Monocle Cafe London ▼香港 The Monocle Shop Hong Kong ▼米国 The Monocle Shop New York ▼カナダ The Monocle Shop Torontoほか

明日を待つ。
創る。

誰の目の前にも、境界線が引かれている。